



2024年5月9日

各位

会社名 三洋貿易株式会社
代表者名 代表取締役社長 新谷 正伸
(コード番号：3176 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部長 難波 嘉己
(電話番号：03 - 3518 - 1052)

業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当・増配)および 期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2023年11月7日に公表いたしました2024年9月期(2023年10月1日～2024年9月30日)の業績予想の修正並びに、2024年3月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年9月期 通期連結業績予想数値の修正(2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 126,000	百万円 6,000	百万円 6,200	百万円 4,000	円 銭 139.03
今回修正予想(B)	126,000	6,800	7,500	4,900	170.22
増減額(B-A)	0	800	1,300	900	
増減率(%)	0.0%	13.3%	21.0%	22.5%	
(参考)前期連結実績 (2023年9月期)	122,596	6,740	7,149	4,830	168.01

(2) 修正の理由

2024年9月期第2四半期連結累計期間においては、日系自動車メーカーの生産好調や飼料加工機器の好転、(株)スクラムが取扱うバイオ分野の研究支援機器の販売好調等により、中国等の景気減速の影響等を受けつつも売上は過去最高を更新しました。利益についても、化成品セグメントでの高付加価値商材の販売増加や価格見直しによる利益率の改善、海外現地法人セグメントにおける新規商売開始等による利益増加、為替差益の計上等により、潜在コア事業の育成開発、人的資本等への先行投資による経費増加を吸収しつつ過去最高を更新しました。第3四半期以降も、日系自動車メーカーの生産動向、中国等の一部地域の景気減速、円安による仕入価格高騰等、外部環境の不確実性としての懸念材料はございますが、事業全般としては想定を上回る利益増加が継続する見込みであることから、上記の通り通期連結業績予想を上方修正することといたしました。

結果として、各利益とも過去最高を更新する見通しであります。

2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年11月7日公表)	前期実績 (2023年9月期)
基準日	2024年3月31日	同左	2023年3月31日
1株当たり配当金	22円00銭	21円00銭	21円00銭
配当金の総額	633百万円	—	604百万円
効力発生日	2024年6月14日	—	2023年6月14日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (2023年11月7日)	21円00銭	22円00銭	43円00銭
今 回 修 正 予 想		23円00銭	45円00銭
当 期 実 績	22円00銭		
前 期 実 績 (2023年9月期)	21円00銭	22円00銭	43円00銭

(3) 修正の理由

当社は2023年11月22日に公表した「SANYO VISION 2028」において、配当については、連結業績および財務状況を勘案し、継続的な増配・安定配当を基本とし、企業価値の拡大に向けた一層の経営体質強化とこれによる安定的な収益力の増強により、1株当たりの配当増額を目指して取り組んでいます。

上記の基本方針および当期の業績動向等を踏まえ、中間配当金につきましては、前回予想から1株当たり1円増配の22円に決定いたしました。また、期末配当予想につきましても前回予想から1株当たり1円増額した23円に修正することといたしました。

これにより、中間配当金を含めた2024年9月期の年間配当金は1株当たり45円となる予定です。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上